



夢をかたちに

2008~ 2009年度
国際ローターテーマ
夢をかたちに」

第2820地区 Weekly Bulletin

HITACHI SOUTH ROTARY CLUB

例会場 要害クラブ TEL 0294-36-2020
例会日 毎週火曜日 12:00~ 13:00
事務所 日立市末広町 1-1-3 国分協同組合内
TEL 0294-36-5074 FAX 0294-37-2176
mail rotaso@iplus.jp
http://www.xyj.co.jp/hitachi/south-rc/



会長;星 勝治 副会長;木本 貴一
幹事;鹿志村 高道 会報委員;小林 英典 鈴木 幸一 高島 章行

28 平成21年 2月 3日(火) 本日のプログラム: 卓話 / 日立市長

次回予告 平成21年 2月 17日(火) プログラム: 職業奉仕委員会

例会報告

2月3日(火) 12:00 開会
弓野 博司 SAA委員長



会長の時間

星 勝治 会長



吉田茂政策審議室長、お忙しいところ卓話に御来臨頂きありがとうございます。
本日の卓話は榎村市長の予定でしたが吉田茂政策審議室長にお話を頂きます。
本日は「地域の力で拓く人・まち輝く新生日立」と題し日立市の基本計画概要をお話頂き日立南ロータリークラブも日立市の発展に協力して行きたいと思えます。吉田さん本日の卓話を宜しくお願ひ致します。
以上です。



幹事報告

鹿志村高道 幹事



- ・4月12日(日)2008~2009年度地区大会のご案内を近々ファックス致しますので多数のご参加をお願い致します。
- ・ワイキキロータリークラブの訪問日程と人数の詳細は今月中に木本会員がワイキキロータリークラブの例会に参加し来月皆様にご報告致します。
- ・さくらまつりの協賛金は例年通り行います。
以上です。



出席報告

鈴木委員長

会員数	出席	欠席	出席率	訂正	免除
36名	24名	12名	68.57%	74.29%	3名

委員会報告

雑誌広報 小山委員長

ロータリーの友2月号の紹介と見所
2820地区(古河中央 土浦中央 高萩ロータリー)の紹介
日立南ロータリークラブ小松会員の川柳が掲載されました。

職業奉仕 宮本委員長

2月17日の職場訪問は日立消防署となりますので沢山のご参加をお願い致します。

庭の福寿草が咲きました。春です。
白石 満義

今年初めての例会です。
長山 行夫

吉田室長宜しくお願い致します。
弓野 博司 鹿志村高道 石川 國博
高島 章行 小澤 興

😊 本日も多くの方からニコニコBOXへのご協力誠にありがとうございました 😊

本日計 33,000円	累計額 846,000円
-------------	--------------

2月の誕生・結婚祝 川崎親睦委員長

誕生祝	8日	櫻村 観	会員
	22日	白土 仙三郎	会員
	25日	大森 孝之	会員
	28日	小澤 興	会員
結婚祝	10日	瀬尾 文洋	会員
	10日	鹿志村 高道	会員
	22日	石川 國博	会員



乾杯 星会長

ニコニコBOX 白石委員長

今日は節分、春がきますね。
星 勝治 山本 忠安 大森 孝之
小林 英典 鈴木 幸一

とにかく頑張ろう
鎌田 栄 木本 貴一

今日は節分、もうすぐ春ですね。
櫻村 観 武藤 真一 須田 晃
宮本 尚彦

吉田茂政策審議室長、お忙しいところ卓話に御来臨頂きありがとうございます。
白土仙三郎 川崎 健輔 佐藤 勝美
岩崎 敬次 小山 高一

1月のラッキースマイル賞



須田会員

ポール・ハリス・フェロー受賞



星会長より鹿志村高道会員へ
ポール・ハリス・フェローの贈呈

本日のプログラム：名誉会員卓話

吉田 茂 日立市政策審議室長様



本日は櫻村市長がお話しする予定でございましたが、他の公務がございまして私が替わり出席させて頂きました。宜しくお願い致します。日立南RCまた会員の皆様には常日頃より日立市の行政各課に渡りましてご協力いただきますことあらためて御礼申し上げます。市長への本日の出席案内におきましては日立市の現況についてという事で行ったので、私なりに日立市の現状と課題について次ぎなる街づくりについての概括になりますがお話させていただきます。皆様のお手元には日立市の基本計画についてお配りさせていただいておりますが、これについても後程ふれてみたいと思います。まず本市の都市としての性格を考えて見ますと、皆様充分にご承知の事と思いますが平成17年は本市の発展の礎となっております日立鉱山の開業100年の節目の年でございました。また平成22年は本市を創業の地といたします日立製作所が100周年という事で行ったので正に産業生誕から100年を経たという事であります。この100年の企業活動旺盛な中では本市を国内有数のものづくり都市へと導いてきた訳でございます。この企業の経営動向が本市への更には地域の経済或いは社会生活に及ぼす大きな影響については誰もが実感するという事だろうと思います。今までの100年間を振り返り次の時代を考える時であるだろうと思います。本市の現状や課題、更にはそれらをふまえた街づくりについてですが市長は例年3月の市議会に施政方針を示すという事で行ったのでございます。昨年の施政方針ではわが国の経済動向について政府の月例経済報告を引用いたしまして景気の判断基調と致しましてこれまでの長期にわたり緩やかな景気回復が続いているとしていたものを下方修正して回復が鈍化傾向となっている。さらにその先行きにつきましては設備投資や輸出が増加基調で推移しているという事から景気回復が緩やかに続くこと期待される。更に3点目としましてサブプライム住宅ローン問題を背景といたしますアメリカ経済や金融市場の変動、原油価格の動向等わが国の経済に与える影響につい

て懸念される事につき言及いたしております。一年の今日全世界におきましては100年に一回といわれるような金融恐慌におかれているという事もございまして、さらには皆様ご存知の通り1月30日、日立製作所が景気の関係のお話をされそれが新聞報道になったという事で行ったのでございますしその前には日立電線がこれも不振というような報道がなされたという事で行ったのでございます。今回の基幹企業の影響がこの日立市にどう及ぼすのかという事についてはまだ明らかになっていないという事ですが基幹企業の不振が中小企業、更には個人の消費にも少なからず影響があるという事で行ったのでございまして日立市の経済環境の悪化、日立市の税収についても危惧されるという事で行ったのでございます。市政運営上からも厳しい財政環境への対応が大きな課題と考えている所で行ったのでございます。今後の課題や施策の方向としては雇用の減少への対応、厚みのある産業構造への転換、人材育成、人口減少と少子高齢化への対応、更には都市基盤の再構築を重要な行政課題と捉え施策、あらためて選択と集中が必要と認識している次第であります。これら現状や課題をふまえての今後の街づくりの方向性ですが地方分権の推進、三位一体の改革等を受けまして地方自治体はこれまで以上に自己決定、自己責任の原則にもとづいて大きな変革のなかにあるという事で行ったのでございます。またわが国は人口減少の時代に入り都市と地方との格差、地方においても地域間競争の時代を迎えているといわれております。本市の将来を考える時、正に地域独自の個性で自立した街づくり活動が求められるとあらためて感じております。これら街づくり活動につきましては地域にある資産をきちんと把握し、埋もれているものを掘り起こし育てうまく組み合わせ磨きをかけると言った事が必要であろうと考えている所であります。日立におきましては海や山をはじめ豊かな自然のほか100年という歴史その中で各種の地域資産の蓄積がございまして。街づくりを進めるにあたりましてはこれらの多様な地域の資産を生かしまして街づくり活動をする必要があると思われまして。日立市独自の街づくりをすすめる要素といたしまして大きく2つあると思っております。1つは正にものづくり技術の集積であると思っております。日立鉱山に始まり日立製作所などを中心とした製造に関しまして企業集積、そこで培われました技術製品作りのノウハウ、そしてこれらを支えてまいりました人材などの資産であると思っております。また本市は東京から約150キロの所に位置しCATVによる情報インフラの整備、常磐自動車道による3つのインターチェンジ、JRの3つの駅、また世界と繋がる日立港など活用できる良好な環境もございまして。ものづくり資産や都市インフラ

については日立市における貴重な財産でありそれらを生かしながら日立市独自の街づくりを目指さなければならないと考えております。日立市独自の街づくりを支えるもう1つの資産は交流資産だと思います。市内には豊かな自然環境をはじめといたしまして文化・観光拠点など沢山の交流資産がございます。日本全体の人口減少や少子高齢化社会の進展などによりまして定住人口の増加が中々望めないなかでありまして、日立市の交流資産を活用いたしまして交流人口を拡大してゆく事が地域の経済の活性化や雇用の拡大に繋がる事と考えるものでございます。本市におきましては日立シビックセンター、日立新都市広場、神峰公園かみね動物園、吉田正音楽記念館や伊師浜国民休養地、本市発展の歴史を学ぶ事ができる日鉱記念館、小平記念館といった企業の博物館も本市の特徴を示す資産といえると思います。本市の街づくりの歴史のなかで守り育ててまいりました日本さくら100選にも選ばれておりますさくらについても大きな資産といえますし新種登録が認められました日立紅寒ざくら、日本海水浴場100選に3箇所も他に誇れる資産であろうと思われれます。これらの地域資産をネットワークし更にはコーディネートすることにより当市のアイデンティティの確立や街に対する市民の誇りを育ててゆくものと考えております。地域資産をうまく組み合わせながら新たな活力を生み出し多様性のある楽しい街になるようにする事が今後の街づくりの方向性であろうと思っております。日立市は平成16年11月の十王町との合併の後、市政運営の最上位計画であります基本計画を策定いたしました。この計画の期間は平成18年から22年までとなっております。この新しい基本計画の街づくりの目標と致しましては「地域の力で開く市とまち輝く新生ひたち」という事で設定いたしました。この目標にこめられたものにつきましては産業生誕100年で培われました人材、産業、文化の蓄積や市民の活動、更には合併により新たに加わりました自然環境や交流機能といった本市が有する資源や特徴をいかしましてそこから生み出される地域の力を街づくりの源動力としてゆきたいと思っております。この基本計画における重点施策につきましては一番産業の振興、二番教育文化の育成、三番福祉と保健医療の充実、四番生活環境の向上、五番都市基盤の整備、六番市民参加の街づくり、七番行財政改革の一層の推進を重点的に取り組む事としております。この5年間には先程の7項目の施策の方向に沿った事業に取り組んでおり産業の振興に関しましてはまさにものづくりの都市として振興できるよう産業支援センター等も連携した中で種々の施策を実施しております。教育文化の育成につきましてはまさに人づくりでございます。特色ある学校づくりの推進や学校環境の計画的な整備を推進しております。福祉と保健医

療の充実に関しましては安心して子どもを生み育て朗らかな家庭が築けるような地域社会づくりを目指すという事で皆さまご存知のとうり日製病院が厳しい状況でございますので市長はじめ県と連携しながらできるだけ早い段階での方向性を見出すよう努力している状況です。生活環境の向上につきましてはあんぜんあんしんがキーワードで日立市に住まわれる人が安全に安心して生活できるよう消防施設や火葬場の整備をしております。今後は南部地区の整備をする予定です。都市基盤の整備につきましては都市機能の拠点としての日立駅整備、駅舎の橋上化や関連施策を進めております。広域幹線道路の整備を旭町以南に伸ばすよう強力に推進しております。次に市民参加の街づくりには当市にある他に誇れるコミュニティがございますのでそれを更に活発化する環境整備を進めております。行財政改革につきましては日立市議会とも協議しながら財政改革を進めており、平成8年度から継続して取り組み人件費削減、公共工事のコスト削減、遊休地の売却等で平成1年までに約24億円の削減、平成1年から15年までには85億円の削減、平成1年から18年には48億円の削減等の効果を見ております。なお職員数につきましては行革が始まりました平成8年には1,829名の職員数でしたが合併によりまして一時的に100名程度の増加がありましたが、本年の1月1日現在では1,559名という事でこの間270名の減という事で行財政改革を進めております。今現在も第四次の行財政改革を実施している所でございまして改革で生まれた色々な財源は施策の重点項目に投資しているわけでございます。日立の現状、課題につきまして概括ではございますがお話させていただきました。なお本年は日立市制70周年でございます。記念の式典・イベントなども考えております。また技能オリンピックも秋に開催されます。ものづくり都市としての全国的なイベントですので改めまして市民企業の皆さまと行政がこれまで以上に連携する中であるいは共通理解のなかで同じベクトルをもち街づくりに当たるのが大切であろうと思っております。日立市を元気ある都市として市外にもアピールできるようなイベントでもあらうと思っておりますので、ご出席いただいております会員の皆様には引き続き行政への支援をあらためてお願いいたしまして私のお話とさせていただきます。

